

私たちは臨床工学技士といいます。主に医療機器の管理やメンテナンスをしています。
今日は病院の電気についてお話します。



災害とかでもし停電になったら病院は大丈夫なの？



病院には呼吸器などの生命維持装置をつけている患者さんや手術が行われています。
停電になると患者様の命に関わってくるので、そういった事態を避けるために**非常電源**が備わっています。停電すると自動的に切り替わり、電源を確保しています。



院内で見る白色・赤色のコンセントは非常電源に関係しているの？



全部で4色のコンセントがあり、それぞれ決まった電源になっています。



【商用電源(白)】皆さんの家庭と同じ電源で停電します。停電時使えなくても大丈夫なものを接続しています。



【一般非常電源(赤)】一時的に停電になりますが、発電機が起動すると復旧します。

一瞬の停電なら大丈夫なものやバッテリーを内蔵している機器を接続しています。



照明



呼吸器



【無停電非常電源(緑)】停電した瞬間に院内バッテリーに切り替わるため停電しません。

一瞬の停電が命に関わる機器を接続しています。



无影灯
(手術用照明)

麻酔器



【その他(茶)】病院ごとで異なります。JA広島総合病院は設備点検用電源になっており、普段は使用しません。



3Pコンセントの3本目はなに？



アースと言って機械が漏電したときに電気を逃がす物です。万が一、人が感電してもアースが人に流れる電気を**1万分の1**に軽減してくれます。

家庭では冷蔵庫・電子レンジ・洗濯機など濡れやすい機械には**アース線**が設置されています。左の写真のようにつけておくと、いざという時に安心です。



アース線付コンセント

豆知識

感電する電気の値は**子ども** < **成人女性** < **成人男性**の順におり、子どもは成人男性の約**2倍**も感電しやすくなっています。なので同じ電気が流れても反応が異なります。



耐えられない！

子ども



痛い！

成人女性



ビリッとする。

成人男性